

日本看護研究学会第48回学術集会

2022年8月27日(土) 14:40～15:40 第2会場(3F会議室)

交流集会4

低位前方切除術後症候群(**LARS**; Low Anterior Resection Syndrome)
を知っていますか？

○佐藤正美	深井喜代子	榎本浩也	松原康美
荒木しのぶ	今泉郷子	江川安紀子	岡田みどり
幸田圭史	谷山 牧	三宅映子	柳 朝子



一般社団法人

日本看護研究学会

日本看護研究学会第48回学術集会 C O I 開示

佐藤正美

発表に関連し、過去3年間において、開示すべきC O I 関係にある企業などはありません。

進め方

全体司会：深井喜代子

時間	内容	担当
14:40~14:50	交流集会のテーマ・目的	佐藤正美
14:50~15:00	本術式とLARSの原因および治療について	榎本浩也
15:00^15:10	外来で出会うLARS患者について	松原康美
15:10~15:20	現時点で整理したLARS患者へのケアについて	佐藤正美
15:20~15:35	効果的なケアを導く方略について（質疑応答）	佐藤正美
15:35~15:40	まとめ	佐藤正美

本交流集会の目的

高度先進医療に伴って出現した困難な排便障害という問題に、医療系研究者がチームを組んで組織的に取り組むプロジェクトを紹介します。

その排便障害は・・



低位前方切除術後症候群

LARS ; Low Anterior Resection Syndrome

本交流集会の目的

高度先進医療に伴って出現した困難な排便障害という問題に、医療系研究者がチームを組んで組織的に取り組むプロジェクトを紹介します。

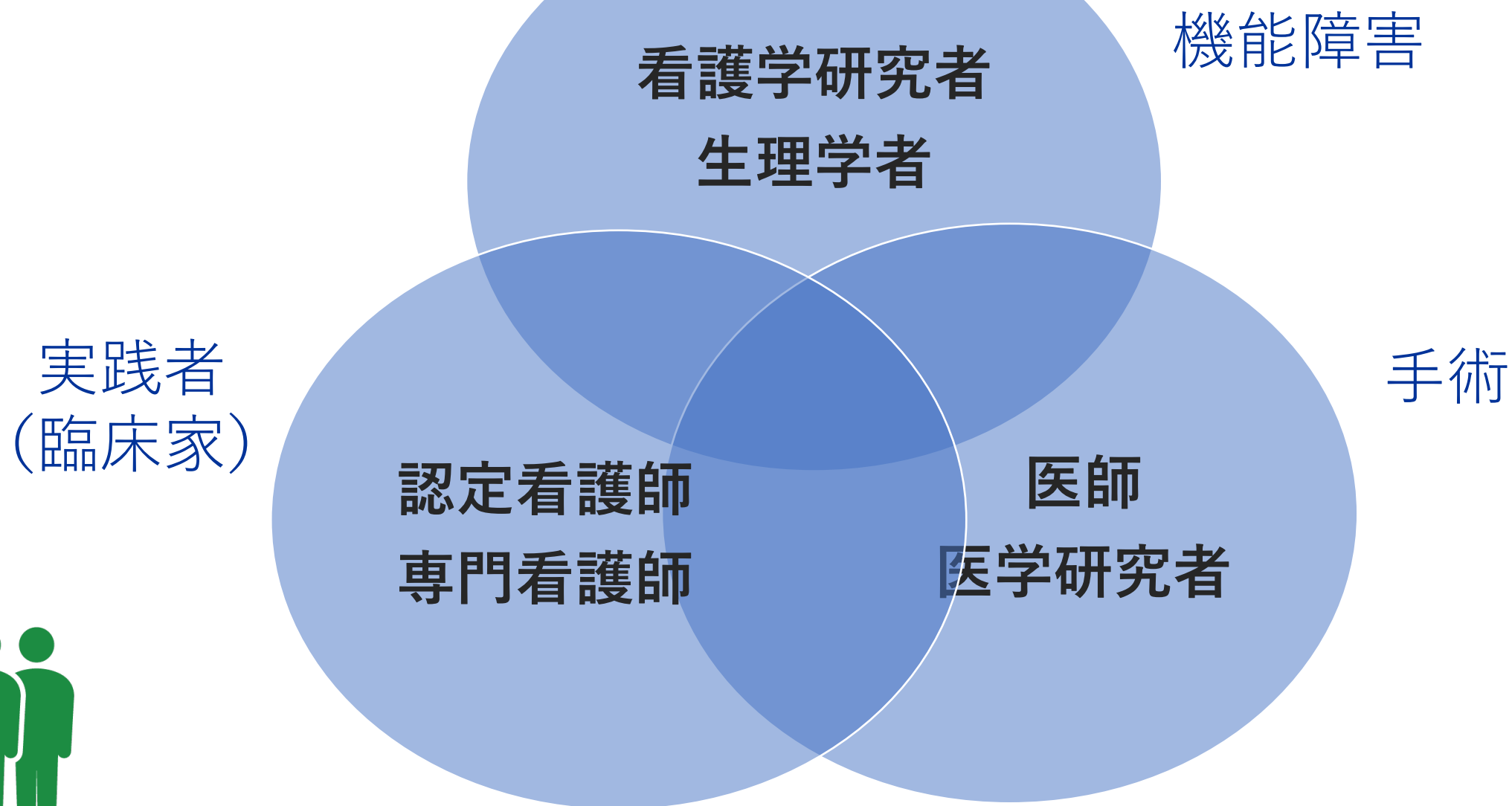
その排便障害は・・



低位前方切除術後症候群

LARS ; Low Anterior Resection Syndrome

研究組織・研究チーム



本交流集会の目的

高度先進医療に伴って出現した困難な排便障害という問題に、医療系研究者がチームを組んで組織的に取り組むプロジェクトを紹介します。

その排便障害は…



低位前方切除術後症候群

LARS ; Low Anterior Resection Syndrome

低位前方切除術後症候群

LARS ; Low Anterior Resection Syndrome

- ✓ 少量で頻回
- ✓ 残便感
- ✓ 便とガスの識別困難
- ✓ 便意逼迫（urgency）
- ✓ Soiling（下着の汚れ）
- ✓ 便失禁

術後 2 ～ 3 年経過すると、症状は変化するが排便障害は持続する

現時点で整理した
LARS患者へのケアについて

LARSに対するマネジメント／ケア

治療も含めて複数の組み合わせ

- 食べ物や食事の調整
- パッドの使用
- 肛門周囲のスキンケア用品の携帯。座浴。
- 内服薬の調整
- バイオフィードバック
- 骨盤底筋運動などのリハビリテーション

Jennie Burch, RN, MSc, Anna Swatton, RN, Claire Taylor, RGN, PhD, et al. (2021). Managing Bowel Symptoms After Sphincter-Saving Rectal Cancer Surgery: A Scoping Review. Journal of Pain and Symptom Management. 62 (6). 1295-1307.

看護師主導でケア／退院後1～2回の来院と2回の電話相談

- 手術や放射線治療の影響の説明
- 食事と症状に応じた薬剤調整
- 骨盤底筋運動など

Dalsgaard P, Emmertsen KJ, Mekhael M, Laurberg S, Christensen P : Nurse-led standardized intervention for low anterior resection syndrome. A population-based pilot study. Colorectal Dis. 2021 Feb;23(2):434-443.

舌がん手術の堀ちえみ「言葉が通じにくい為に受ける、 いじめ的な屈辱が心に傷」 術後3年半

19年2月に舌がんの手術を受けたタレント・堀ちえみ（55）が19日、ブログを更新。舌の6割を切除し、太股から皮膚を移植して再建したが、「言葉が通じにくいがために受ける、社会生活の中でのいじめ的な屈辱」が心の傷となっていることを打ち明けた。

—（略）—

「身体の方が順調で何よりですが、実は…心の方は取り残されている状態」と切り出し、「言語や口腔内の後遺症へのコンプレックス」「言葉が通じにくいがために受ける、社会生活の中でのいじめ的な屈辱。（特に介添が必要とされないためものを尋ねたり道を説明したりした時に受ける小さな屈辱は心に傷を重ねていきます）」「気にしていないと思っけていても、時にとても哀しくなります」と告白した。

感謝の気持ちを持つことで一時的に前向きになるが、再びつらい気持ちになり、「涙を流す」ことも。「どうしようもないほど辛くなり考え込んだりして眠れなくなることも、術後よりも今の方が多くなってきたように思えたりもします」と明かし、「前向きに生きようと思うしかなく、時々後ろを振り返り泣いて。また前を向き直して生きていく。その繰り返し」だと説明した。



効果的なケアを導く方略について

ご意見がありましたら
お願いします。

直腸がん術後の排便障害

With LARS

手術後の排便障害とうまく付き合っていくための情報共有サイト
身近な人に話しにくい、聞きにくい体験談も掲載・応募しております。

基盤研究 (B) 課題番号:21H03244H

「対処困難な肛門温存術後の排便障害を抱える患者への看護ケアガイドラインの開発」

SCROLL DOWN ▼

With LARSの願い

アンケートへのご協力をよろしくお願いいたします。



アンケート用紙も準備しております。
どちらかでご回答をお願いいたします。

<https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSeQIp8XuMGHaNXNmI3P0FrMI7OnBeiTlxPBryfgdS1xI5J5ng/viewform>

masami.sato@jikei.ac.jp